

平成23年度

苫小牧市立病院経営改革プラン評価報告書

平成24年11月

苫小牧市立病院経営改革評価委員会

目 次

・はじめに	1
・経営改革プランに対する評価	2
第1節 委員会評価及び意見、過去の評価との比較	2
(1) 項目Ⅰ 経営指標に係る数値目標	4
(2) 項目Ⅱ 経営効率化のための具体的な取り組み	6
(3) 項目Ⅲ 各年度の収支計画	9
第2節 今後の病院経営に対する提言	11
(1) 医療提供体制について	11
(2) 経営体質の強化について	12
【付属資料】	
・委員名簿	13
・会議開催の状況	14

はじめに

本委員会は、平成21年2月に策定された「苫小牧市立病院経営改革プラン」の進捗状況を、外部委員で構成する評価委員会で検討するために設置された第三者委員会であり、今年度は23年度の実績に対する評価及び意見を求められた。

経営全体としては、経営状況を評価するのに重要な指標である経常収支比率が大幅に改善されて100%を超えており、また、収益的収支では21年度まで純損失が発生していたが、22年度より純利益に転じ、23年度は553百万円程度の純利益が生じていることなどから、概ね良好であるといえることができる。このことは、単年度資金収支において434百万円の資金余剰が発生していることにも現れている。

ただ、職員給与費対医業収益比率といった指標では、前年度と比較すると改善の傾向は見られたものの、計画値は依然として達成することができず、計画終了後においても収益の増加と費用の適正化などの改善の余地がまだあると言わざるを得ない。

今後の経営における最大の課題は、医師や看護師をはじめとするスタッフの確保であろう。このことは良質な医療水準の維持・向上のために必要であることはもちろん、7:1看護体制に代表されるように、人材の投入が収益に直結する現在の診療報酬制度の仕組みからも求められることである。医療スタッフの不足が深刻化している状況の下、それを確保することは大きな困難が伴うものと思うが、病院で新たに取組んでいる対策が実を結ぶことを強く望む。

経営状況が改善傾向にあるとはいえ、医療を取り巻く状況は依然として厳しく、先行きの不透明な要素もあるだろうが、東胆振・日高地区の中核病院として専門性の高い医療を提供し、経営自立を図るため、改革プランで実践された重点項目の取り組みに従いながら、引き続き着実に事業が展開されることを期待する。

平成24年11月

経営改革評価委員会
委員長 水元修治

経営改革プランに対する評価

第1節 委員会評価及び意見、過去の評価との比較

ここで予め20～23年度実績評価の概要を下表のとおり示す。

			A	B	C	D	E	計
経営指標	20年度	病院自己評価	3	4	2	0	0	9
		委員会評価	2	5	2	0	0	9
	21年度	病院自己評価	4	1	4	0	0	9
		委員会評価	3	2	4	0	0	9
	22年度	病院自己評価	3	4	2	0	0	9
		委員会評価	2	5	2	0	0	9
23年度	病院自己評価	3	4	2	0	0	9	
	委員会評価	3	3	3	0	0	9	
具体的 取り組み	20年度	病院自己評価	5	22	5	1	0	33
		委員会評価	5	20	6	2	0	33
	21年度	病院自己評価	12	18	3	0	0	33
		委員会評価	10	19	4	0	0	33
	22年度	病院自己評価	15	17	1	0	0	33
		委員会評価	11	21	1	0	0	33
23年度	病院自己評価	10	20	3	0	0	33	
	委員会評価	11	20	2	0	0	33	
収支計画	20年度	病院自己評価	0	30	6	0	0	36
		委員会評価	0	30	6	0	0	36
	21年度	病院自己評価	8	14	14	0	0	36
		委員会評価	8	14	14	0	0	36
	22年度	病院自己評価	8	12	16	0	0	36
		委員会評価	8	12	16	0	0	36
23年度	病院自己評価	15	12	9	0	0	36	
	委員会評価	15	11	10	0	0	36	
合 計	20年度	病院自己評価	8	56	13	1	0	78
		委員会評価	7	55	14	2	0	78
	21年度	病院自己評価	24	33	21	0	0	78
		委員会評価	21	35	22	0	0	78
	22年度	病院自己評価	26	33	19	0	0	78
		委員会評価	21	38	19	0	0	78
23年度	病院自己評価	28	36	14	0	0	78	
	委員会評価	29	34	15	0	0	78	

市立病院は、経営改革プランに対し以下の基準で自己評価していることから、対比を明確にするため本委員会においても同一の基準に基づき評価した。

A：目標を余裕を持って達成し、付加価値が生じた。

B：プランの目標値は達成した。

C：プランの目標達成に向けて取り組みはしているが、現状未達成である。

D：プランの目標達成に向けて取り組めていない。

E：検討されていない。

総体的にみると20年度は計画初年度ということもあり、D評価を受けている項目もあった。21年度では20年度に多かったB評価からA・C評価にそれぞれ移行する傾向を示し、22年度は21年度C評価であったものが、B評価に若干シフトしているように、年次が進むにつれて、達成されている項目が増えるのはある意味当然かもしれないが、計画の着実な進捗を示すものであろう。

23年度における病院自己評価と委員会評価をみると、病院でB・C評価をつけた各1項目について委員会評価ではそれぞれ評価を上げてA・B評価とした。これは項目内容等それぞれ目標を達成し、付加価値があると認めたためである。

一方、病院でB評価をつけた2項目については、数値目標に達していないことから委員会評価ではC評価とした。

【総評】

経営改革プランの計画期間は、平成21～23年度の3ヵ年であり、今回の評価によってプラン自体は一区切りとなる。

経常収支比率や収益的収支は年々改善され、22、23年度と連続して純利益を計上するとともに、累積資金不足額も406百万円まで解消が進むなど、経営全体に対する評価としては、「概ね良好である」といえる。

しかし、医師や看護師など医療スタッフの確保対策や一般会計からの繰入れに頼らざるを得ない体質を鑑みた場合、けっして楽観視はできない状況であると思われる。

今後も東胆振・日高医療圏の中核病院としての役割を果たしていくためには、さらなる経営改善への取り組みが求められるところである。

なお、23年度実績に対する本委員会の評価及び意見の詳細は、4～10ページに示したとおりである。

(1)項目 I 経営指標に係る数値目標

【財務に係る数値目標】

項番	項目	20年度実績値	21年度実績値	22年度実績値	23年度計画値	23年度実績値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
								評価	意見
1	経常収支比率 (%)	93.6	96.6	100.3	101.7	103.5	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 良好な経営状況を示す一つの目安である経常収支比率100%を超えており、経常収支の黒字化が達成されている。前年度と比較しても3.2%と大幅な改善が見られたことは評価に値する。引き続き新たな増収対策を実施するとともに費用の抑制に努めることを求める。
2	職員給与費対医業収益比率 (%)	51.2	50.9	49.6	46.8	48.6	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 前年度と比較して、医業収益が207百万円増加したことにより、1.0%改善しているが、計画値との差は1.8%となっている。人材投入が増収につながる診療報酬制度下において、人件費が膨らむことはある程度やむを得ないことだが、医業収益を増加させることにより比率を低下させることを求める。
3	材料費対医業収益比率 (%)	26.7	24.5	23.4	25.8	23.0	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 医業収益の伸びにより比率は低下しているが、材料費自体も前年度と比較して11百万円増加している。後発医薬品の採用拡大など更なる改善を求める。
4	一般病床利用率 (%)	86.9	87.6	86.9	88.0	87.4	B	C	病院評価はBとしているが、やや計画値を下回っていることから、評価をCとする。 一方で前年度と比較して0.5%増加し、平均在院日数の短縮は収益増加につながっており、経営的にはプラスとなっている。引き続き、利用率の増加に努めることを期待する。
5	入院患者1人1日当たり収入額 (円)	43,807	46,525	49,535	47,074	49,862	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 前年度と比較して327円増と伸びは鈍化したものの、計画値との比較では2,788円増と大幅な伸びを示しており、評価に値する。今後とも診療報酬につながる病院機能の充実に努めることを期待する。
6	外来患者1人1日当たり収入額 (円)	8,679	9,690	10,218	8,679	10,700	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 計画値を2,021円も上回っていることは評価に値する。

【その他の指標】

項番	項目	20年度実績値	21年度実績値	22年度実績値	23年度計画値	23年度実績値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
								評価	意見
7	紹介患者数 (人)	7,537	7,774	8,099	8,380	8,308	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 一次医療機関からの紹介患者の確保は安定した医業収益の維持につながるものであり、期間中は増加傾向にあったことから、今後も実績値が増えていくことを期待する。
8	救急患者数 (人)	10,469	8,352	6,257	10,000	4,734	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 救急患者数は、21年度に夜間・休日急病センターが新施設でオープンしたことなどの影響により、毎年大幅に減少している。一方、救急車による搬送件数は、20年度2,543件、21年度2,596件、22年度2,617件、23年度2,682件と増加している。このことは救急患者のうち、一次医療機関を受診すべき軽症患者が減少していることを示し、本来の二次救急医療機関の役割は果たしつつ、医師の負担軽減が図られているものと理解できる。
9	手術件数 (件)	2,381	2,562	2,538	2,440	2,647	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

(2)項目Ⅱ 経営効率化のための具体的な取り組み

【医療提供の充実】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
1	外来診療体制の強化	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。診療ブースの増設は計画通り行われたことから、今後も医師・看護師・医師事務作業補助者等の確保を図り、より専門性の高い医療の提供がなされることを求める。
2	がん診療の充実	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。がん診療連携拠点病院の指定を目指して、積極的に条件整備に取り組んでいる。地域におけるがん診療の充実のためにも、将来的に拠点病院となることが期待される。
3	放射線治療の開始	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。今後とも放射線治療医師の常駐配置の実現に向け努力されることを求める。
4	助産師外来の開始	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。今後とも助産師の確保を図り、決め細やかなサービスが継続されることを期待する。
5	専任看護師の配置	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。各分野における専門的な資格を取得した看護師の配置は、患者への良質な医療サービスの提供に有効である。今後とも計画的な育成・確保・配置の取り組みが継続されることを求める。
6	救急医療体制の強化	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。ICU病床を有する病院としては偶数日の体制充実について、引き続き検討していくことを求める。
7	リハビリテーション体制の強化	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。今後とも計画的に理学療法士、作業療法士、言語療法士の採用を行うよう求める。
8	地域医療連携ネットワークシステムの拡大	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。なお、前年度に引き続き接続医療機関数の増加は認められるものの、紹介患者数の指標においては依然として目標未達成であり、ID-Linkの導入により、今後一層の地域連携の充実が求められる。

【収入の増加】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
9	7:1看護体制への移行	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。病棟の一時休床など、懸念材料はあるものの、7:1看護体制は、良質・安全な看護サービスの基礎を成すものであり、経営の視点からも入院料の底上げにおいて重要である。今後とも看護師確保に努め、体制が維持されることを求める。
10	小児入院管理料2の算定 ※平成22年4月改定で、小児入院管理料3に名称変更	20年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
11	入院時医学管理加算の算定 ※平成22年4月改定で総合入院体制加算に名称変更	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
12	特定集中治療室管理料の算定	21年度～	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。算定の前提となる看護師確保が困難な状況であることは理解できるが、経営の視点から看護師の新規採用等に努めることが求められる。
13	DPC請求の開始	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。23年度は導入後の在院日数や医療資源のコントロール、出来高算定項目の強化など、医療の質の向上を目指した効率的な運用に努めている。今後とも医療の標準化を前提に、診療内容の質の低下を招かないよう適切な運用を求める。
14	人工透析の拡大	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
15	査定対策の充実	20年度～	C	B	病院評価はCであるが、査定率平均は道内主要公立病院の値より若干下回っており、再審査復活金額の増収など収益増につながる活動は評価できる。よって、評価をBとする。今後とも院内における連絡調整を密にし、請求委託業者への点検強化の働きかけを継続して、さらなる査定率の維持・改善に努めることを期待する。

【経費の節減】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
16	職員給与の適正化		A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。ただし、これは給与制度の見直しの取り組みに対する評価であり、職員給与費の金額に対する評価は別の項目で行っている。給与制度の見直しについては、すべての課題を解決し、国家公務員と同じになったことは評価できる。
17	診療材料費の削減	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。価格削減交渉や安価品目への切り替えなどに取り組み、一定の効果をあげているが、診療材料費全体としては前年度より微減にとどまっている。今後とも更なる購入額の削減に努めることを求める。
18	後発医薬品の採用拡大	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。後発医薬品は薬剤総購入額の10.50%となっており、計画の目標である10%を達成し、効果額も92.6百万円と大きい。今後も採用拡大に努め、経営の効率化を目指すことを強く期待する。
19	光熱水費を削減	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。今後も燃料単価の値上がりが想定される状況下において、環境保全の視点からもOA機器の節電など、今まで以上に積極的な取り組みが求められる。
20	産業廃棄物処分手数料を削減	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。処分費用単価の低下により、若干の削減効果があったが、今後とも感染対策や分別など病院機能の維持に影響が出ない範囲内で、更なるコスト削減が行われることを求める。
21	コスト意識の醸成	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【患者サービスの向上】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
22	患者意見の反映	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。要望や苦情を受けた業務等の問題点を追及し、業務の改善につなげ、ご意見箱設置による意見聴取以外の聴取方法の検討を求める。
23	患者満足度調査の継続実施	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。調査が継続して行われていることは一定程度評価できるが、一部、外来待ち時間の改善などの結果に結びついていないと難しい、より一層の改善が求められる。
24	接遇研修の実施	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。今後も接遇改善部会の活動を通じて、医療分野もサービス業の一つであることを認識し、身だしなみや接遇の改善に取り組むことを求める。
25	病院広報誌の発行	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【人材の確保】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
26	医師確保の取り組み	20年度～	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 医師不足による地域医療の崩壊が各地で起こっている状況の中で、23年度末から麻酔科医不足になったことは極めて残念なことであり、早期の解消に努めることを期待する。
27	看護師確保の取り組み	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 看護師不足が深刻化する中、色々な対策に取り組んでいることは一定程度評価できるが、病棟の一時休床などで十分な結果に結びついていないとは言えず、今後も確保に向けた取り組みの充実を求める。
28	医師の事務負担を軽減	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 今後とも現場の求めに応じた適正な医療事務補助者の配置がなされ、担当する業務内容の継続的な検討による負担軽減が図られることを求める。
29	院内保育所の24時間化	21年度～	B	A	利用実績が少なく、病院評価はBであったが、24時間保育の他、日・祝日の開園及び学童保育などを実施するなど看護師の就労環境整備に努めており、雇用確保と離職防止に役立っていると判断する。よって、評価をAとする。今後も看護師の就労環境整備の一助としての役割を期待する。
30	研修の強化	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 各職種が公費の出張費を利用して学会などの場でその専門分野の先端技術等に触れることは、職員の資格取得やモチベーションを高めるためにも必要なことである。今後もより一層の拡充が求められる。
31	事務プロパー職員の採用検討	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【経営体制の強化】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
32	地方公営企業法の全部適用を検討 (21年度に取組済み)	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 今後も経営形態を見直さなければならないような経営状況の悪化を招かないよう、安定した経営が求められる。
33	組織の見直し	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 今後も病院機能が効率よく運用されるよう、弾力的な組織の見直しを行うことが求められる。

(3) 項目Ⅲ 各年度の収支計画

【収益的収支】

(単位:千円)

項番	項目	20年度実績値	21年度実績値	22年度実績値	23年度計画値	23年度実績値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
								評価	意見
1	病院事業収益	8,398,352	9,036,568	9,538,165	9,022,700	9,921,193	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
2	医業収益	7,624,666	8,287,089	8,740,340	8,226,855	8,946,957	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
3	うち入院収益	5,255,171	5,625,144	5,939,724	5,713,721	6,028,899	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
4	うち外来収益	1,944,748	2,178,902	2,277,501	2,054,319	2,402,122	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
5	医業外収益	600,994	576,787	625,134	556,089	728,480	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
6	特別利益	172,692	172,692	172,691	239,756	245,756	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
7	病院事業費用	9,785,840	9,203,713	9,400,705	8,659,452	9,388,797	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
8	医業費用	8,457,849	8,871,817	9,043,639	8,336,103	9,078,635	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
9	うち職員給与費	3,899,712	4,212,054	4,335,034	3,852,555	4,345,898	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
10	うち材料費	2,137,197	2,130,702	2,146,929	2,123,426	2,156,566	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
11	医業外費用外	322,895	306,089	291,280	301,849	272,294	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
12	特別損失	1,005,096	25,807	65,786	21,500	17,868	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
13	経常収支	△ 562,893	△ 313,199	31,373	144,992	325,162	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
14	当年度純損益	△ 1,386,522	△ 166,314	138,278	363,248	553,050	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
15	利益剰余金又は累積欠損金(△)	△ 5,957,189	△ 6,123,503	△ 5,985,225	△ 5,558,952	△ 5,432,175	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【資本的収支】

(単位:千円)

項番	項目	20年度実績値	21年度実績値	22年度実績値	23年度計画値	23年度実績値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
								評価	意見
16	資本的収入	1,629,707	712,347	805,152	676,909	691,200	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
17	うち企業債	996,600	27,100	72,300	100,000	86,200	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
18	うち他会計出資金・負担金	610,394	676,247	697,387	576,909	575,425	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
19	資本的支出	1,005,495	1,075,933	1,171,549	1,175,714	1,184,214	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
20	うち建設改良費	65,784	40,849	111,120	103,000	118,262	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
21	うち企業債償還金	939,711	1,035,084	1,060,429	1,072,714	1,060,552	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
22	収支差引	624,212	△ 363,586	△ 366,397	△ 498,805	△ 493,014	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【半年度資金収支ほか】

(単位:千円)

項番	項目	20年度実績値	21年度実績値	22年度実績値	23年度計画値	23年度実績値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
								評価	意見
23	単年度資金収支	525,116	△ 62,906	254,459	250,274	434,154	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
24	累積資金収支	△ 1,032,057	△ 1,094,963	△ 840,504	△ 558,637	△ 406,351	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
25	一般会計繰入金	1,333,303	1,402,361	1,431,365	1,343,681	1,479,075	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【その他】

項番	項目	20年度実績値	21年度実績値	22年度実績値	23年度計画値	23年度実績値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
								評価	意見
26	経常収支比率%	93.6	96.6	100.3	101.7	103.5	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
27	職員給与対医業収益比率%	51.2	50.9	49.6	46.8	46.8	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
28	材料費対医業収益比率%	26.7	24.5	23.4	25.8	23.0	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
29	資金不足比率%	13.2	10.7	9.6	6.8	4.5	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
30	患者数人	119,958	120,903	119,907	121,400	120,905	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
31	入院 1日当たり患者数人	329	331	329	333	330	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
32	入院 病床利用率%	86.9	87.6	86.9	88.0	87.4	B	C	病院評価はBとしているが、計画値を下回っていることから、評価をCとする。
33	診療単価円	43,807	46,525	49,535	47,074	49,863	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
34	患者数人	224,039	224,619	222,865	236,700	224,489	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
35	外来 1日当たり患者数人	918	928	917	970	920	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
36	診療単価円	8,679	9,690	10,218	8,679	10,700	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

第2節 今後の病院経営に対する提言

(1) 医療提供体制について

ア 人材の確保と育成

医師・看護師をはじめとするスタッフの確保の重要性は先に述べたとおりである。特に本年9月から実施している病棟の一部休止を早期に解消するためには、看護師確保に向けた取組の強化が必要であり、新規採用者の確保と併せて、現職の離職を招かないよう、更なる負担軽減を図り、引き続き子育て世代の看護師離職防止のために院内保育所の充実を求める。

また、麻酔科医師の確保も喫緊の課題であり、早期の体制回復に向けて引き続き努力していくことを求めるものである。

人材育成については、専門的で良質な医療サービスを提供するため、各種研修の充実により職員のレベルを底上げし、専門医や認定看護師等の資格取得に対する具体的な取り組みの強化を求める。

イ 救急医療の充実

軽症患者の減少により、医師の負担軽減が図られたことと思うが、一方で、二次救急医療機関の役割がより明確になったことにより、今まで以上の医療提供が求められる。

地域における二次救急医療機関の一つとして、専門的なスタッフの育成、医療機器の整備などにより、その機能の充実を求める。

ウ 災害拠点病院の機能充実

東日本大震災により、激甚災害時の医療機能の維持確保の重要性が改めて認識された。

市立病院は、昨年11月に災害拠点病院の指定を受け、本年11月には初の災害対策訓練を実施するとともに、D-MATチームが組織されたところである。

今後は、訓練内容の着実なレベルアップと必要な災害備蓄の確保、D-MATチームの機能及び装備の充実などが求められる。

エ 利用者の意見

医療分野もサービス業の一つであり、患者の満足度の向上は常に求められるものである。

本来の医療提供の充実は当然として、外来待ち時間や接遇などに関する利用者の意見などを十分把握し、患者の視点にたった改善が求められる。

(2) 経営体質の強化について

ア 収益の増加

医業収益において21年度で662百万円、22年度で453百万円、23年度は207百万円と3年連続で着実な伸びを見せていることは、評価できる。

DPC制度下において、診療の質の低下を招かないよう適切な運用を行い、医療の標準化と急性期病院としての機能向上に取り組み、増収を図ることを求める。

イ 費用の適正化

① 人件費

現在の診療報酬制度は人材投入が収益増加に大きく関わる構造であることなどから、人件費の増加はある程度やむを得ないことではある。

しかし、地域の中核病院としての医療提供機能を維持する観点に立ち、常に医業収益と人件費の動向を注視し、病院経営における人件費の適正化を図っていくことを求める。

② 材料費

材料費のうち薬品費については、改革プランの取り組み事項にもあり、後発薬品の安全性に関する情報収集に努め根拠を明確にした上で、後発医薬品の採用拡大に今後も積極的に取り組み、費用の削減に努めることを求める。

委員名簿

区分	所 属	役 職	氏 名	備 考
医療関係機関	社団法人 苫小牧市医師会	顧問	水元 修治	委員長 21～24年度委員
	財団法人 苫小牧保健センター	理事	畔蒜 正義	21～24年度委員
	北海道胆振総合振興局 保健環境部 苫小牧地域保健室	次長	志賀 利美	23～24年度委員
経済関係機関	苫小牧商工会議所	副会頭	阿部 喜朗	副委員長 21～24年度委員
	苫小牧信用金庫	専務理事	千葉 憲万	23～24年度委員
	社団法人 苫小牧青年会議所	直前理事長	藤田 健次郎	22～24年度委員
学識経験者	苫小牧駒澤大学	教授	佐藤 郁子	21～24年度委員
	苫小牧消費者協会	会長	橋本 智子	21～24年度委員

【参考】

事務局	苫小牧市	副市長	中野 裕隆	
	市立病院	病院長	藤咲 淳	
		事務部長	松浦 務	
		部次長	山本 俊介	
		医事課長	椿 勇喜	
			財務係	庶務担当

会議開催の状況

	開催月日 開催場所	議事内容等
第1回	10月24日 市立病院講堂	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱状交付 ・副委員長選任 ・23年度実績 病院自己評価について ほか
第2回	11月12日 市立病院講堂	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改革プラン23年度実績に対する委員会評価 意見について ほか
第3回	11月28日 市立病院 応接会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改革プラン評価報告書のとりまとめについて ほか